

4 / 17 (月) の行事



はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル



報道発表資料の配付日時 4月13日(木) 10時00分

発表項目 (行事名)	「北海道e-水 (イーミズ) プロジェクト」支援団体の決定 とキックオフミーティングの開催について 		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道内の水辺において環境保全活動を行う団体の事業に対し助成を行う「北海道e-水プロジェクト」について、令和5年度(2023年度)の支援団体を決定しました。</li> <li>○ 今回採択された事業を実施する団体が集い、活動内容を発表し、情報を共有するための「キックオフミーティング」を開催します。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道では、平成21年(2009年)11月に北海道コカ・コーラボトリング株式会社と「環境保全に関するパートナーシップ協定」を締結し、平成22年(2010年)から、道内の水辺において環境保全活動を行う団体の事業に対し助成を行う「北海道e-水プロジェクト」を、同社及び(公財)北海道環境財団と協働で実施しており、令和5年(2023年)で14年目を迎えます。</li> <li>○ 令和5年(2023年)は、選考委員会における厳正な審査の結果、19事業(団体)を選定しました。 支援団体、事業概要等は別添一覧のとおりです。 これまで採択された団体数は延べ179団体になります。</li> <li>○ また、今回採択された事業を実施する団体が集い、活動内容を発表し、情報を共有するための「キックオフミーティング」を次のとおり開催します。</li> </ul> <p style="text-align: center;">日 時：令和5年(2023年)4月17日(月)14:00～16:10                  開催方法：オンライン開催(後日YouTubeにて配信予定)                  北海道e-水プロジェクトのホームページからアクセスしてください。                  URL <a href="https://www.heco-spc.or.jp/emizu/index.html">https://www.heco-spc.or.jp/emizu/index.html</a></p> 		
参 考			
報道(取材)に当たってのお願い	キックオフミーティングの開催を広く周知するため、記事掲載等にご協力をお願いします。また、新聞掲載やテレビ放映されることにより、民間団体等が行う水辺の環境保全活動や、行政・企業・環境団体による協働取組の重要性が広く認知されることから、積極的な取材にご協力をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付：経済記者クラブ ※北海道コカ・コーラボトリング(株)が配付 同時レク：		
担 当 (連絡先)	(プロジェクト全般については) 環境生活部 環境保全局 循環型社会推進課 (課長補佐(水環境対策)横川) TEL(ダイヤルイン)：011-204-5193(内線：24-255) (団体の活動内容など具体的な事項については) (公財)北海道環境財団(企画事業部長 内山) TEL：011-218-7811		



## 2023年北海道e-水プロジェクト 採択団体一覧表\_e-水コース

団体名	事業名	活動地域	事業概要
大沼ラムサール協議会	自走式アオコ・漂流ゴミ回収ロボの開発と回収物の処理と活用	ラムサール条約登録湿地「大沼」(七飯町)	多くの湖沼では、アオコ発生による生活環境と生態系の悪化、さらにはマイクロプラスチックの元となる漂流ゴミの問題が顕在化している。この活動では、それらの問題を解決するツールとして最近注目を集めている自走式ゴミ回収ロボットを、将来的な普及を目指して地元の小中学生と協力して開発する。実際に、大沼で性能評価を行い、協働パートナーとともに回収物の展示や研究試料への利活用についても検討する。
オホーツク魚類研究会	ポータブル魚道を もっと使ってみよう	豊幌川、美幌町民会館、美幌博物館(美幌町)	川の氾濫から橋などの構造物を守るため、川がコンクリートで平らに固めてしまうことがあります。こうした工事によって、川の水の流れは速くなり、水深も極端に浅くなります。その結果、サケなどの大型魚が川を移動することが難しくなります。本活動では、地域住民とともに、持ち運びできる資材を利用してサケが川の上流に移動できるようにします。
一般社団法人 菜子森	田んぼのようちえん「いつんぼ」	江別市	未就学児の親子が対象で、月に1回、田んぼで体験活動を行います。田植え、田んぼの生き物調べ、稲刈り、脱穀等の田んぼ作業を通して、田んぼってどんなところなのか、どんな生き物がいるのか、いつも食べているごはんがどのようにできているのかを体験により感じてもらうのが目的です。具体的には、裸足や素手で泥遊びしながら畦塗りをし、田んぼに入り生き物を採って観察する、稲の観察等、五感を使って楽しみます。
羽幌みんなで作る自然空間協議会	ビオトープ公園「自然空間はぼろ」の水鳥池再生事業	ビオトープ公園「自然空間はぼろ」(羽幌町福寿川流域)	ビオトープ公園「自然空間はぼろ」にある開放水面を生き物でにぎわう空間へと再生するため、水環境の悪化が深刻な水鳥池の排水、浚渫、水路の整備を実施する。地域住民に水環境の保全の大切さを理解してもらうために、浚渫事業を住民と連携して行う他、自然観察会、水質調査、生物調査(水生生物・植物・昆虫)等のイベントを開催する。活動内容は随時、SNSや会報誌で公開・発信する。
特定非営利活動法人 人まち育てI&I	残そう味わおう！ 湿地の文化と食～スゲメ縄と湿地の恵み料理、環福連携の試み～	道央地域(石狩、空知、後志)	湿地に関わる文化と食を体感して楽しみ、湿地再生活動にも関わる機会を多面的に提供し、湿地の大切さや魅力を知る人を増やすことで、湿地の自然環境と文化を未来に残します。今年も「スゲを使ったメ縄文化を残す」「エゾカンゾウ等の湿地の恵みを美味しく食べて健康になる」をテーマに、昨年の成果を活かして体験会と植物増殖活動を展開します。増殖活動等、福祉・療育・医療分野とつないでい、「環福連携」を推進していきます。
一般社団法人 北海道山女魚を守る会	山女魚の放流と自然環境の保護	石狩川水系、尻別川水系(道央地区)	喜茂別町にある山女魚を守る会所有の孵化場において、山女魚の卵の孵化事業と孵化した稚魚10数万尾の道央地区(石狩川水系、尻別川水系など)10数か所への放流を実施する。放流に際しては、地域の町内会、観光協会、小学校などと協力して、主に子供たちによる放流を通じて、川の生き物や自然保護の大切さや川辺の安全教育の普及などを図る。
UWクリーンレイク洞爺湖	洞爺湖G(外来種)サミット開催と湖畔清掃プロジェクト	洞爺湖	①外来生物の専門家を招いたシンポジウムの開催(五箇公一氏と中井克樹氏を予定) 専門家を交えた北海道内でウチダザリガニ防除活動を行っている団体や個人によるワークショップの開催 ②洞爺湖中島周辺及びゼロポイントの清掃活動 ③活動機材の修繕及び機材の更新



## 2023年北海道e-水プロジェクト 採択団体一覧表\_しずくコース

団体名	事業名	活動地域	事業概要
石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク	浜厚真ネイチャー&サーフ ～浜厚真町長杯における湿地の 普及啓発活動～	浜厚真町浜厚真	サーフィンの大会である「浜厚真町長杯」にあわせて、浜厚真の自然を紹介するブースを設け、生き物の解説や自然観察会を行うことで、海洋利用者であるサーファーと地元町民に浜厚真の自然の価値と魅力を伝える。
一般社団法人 小樽セーリングクラブ	海から行く、小樽市祝津 ～オタモイ海岸 ビーチクリーン&漂流ゴミ回収	オタモイ海岸 (小樽市祝津)	2021年から実施しているビーチクリーン活動の範囲と内容を拡大し、海岸沿いの陸上側と会場側に分かれて漂着漂流するゴミを回収する。(通年・一斉) また、今年度からの新たな活動として、回収したゴミを一定期間展示することで活動拠点となるヨット少年団の子供たちや学生を対象に環境保全を目的とした教育を行うとともに漂着ゴミの統計記録を保存する。
黒松内ぶなの森自然学校運営協議会	朱太川を未来につなぐプロジェクト ～鮭キャンプを通じて～	朱太川流域 (黒松内町・寿都町)	「黒松内町を流れる朱太川の鮭とのつながりを感じる」をテーマに、1泊2日の小学生対象のキャンプを10月に行う。主に鮭との触れ合い、鮭の命をいただき、鮭が遡上する川の環境について学ぶことを目的とする。 活動はカメラからの鮭の水辺観察や、鮭を調理して食育体験を行う。 この体験をした子どもたちが、未来の子どもたちに、朱太川やそこに棲む生き物と触れ合える場や機会を創出できるようになることを目指す。
コドモくらす	「もっと水辺de幼稚園」 空にもいるよ水辺のいきもの	旭川市及び近郊	「川は危険だけど楽しいところ」と実感する市民を増やすことを目的とし、幼児や小学生が地域の川で遊びながら学ぶ機会を提供する。 川に住む水生生物はもちろんのこと、川に来る野鳥にも目を向け、生き物が住める環境について考える。さらに水の流れや地形についても実際に触れて感じ、身近な水辺環境と自分たちの暮らしと繋がっているということ子どもたちに伝えたい。
認定NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク	稚咲内海岸を知ろう! ～海岸散策と見どころマップ作り～	サロベツ地域(豊富町、幌延町、天塩町)	稚咲内海岸は様々な海浜植物が生育している貴重な環境で、道路が海岸に沿っており、多くの人が訪れる観光地である。しかし、海岸にはゴミが見られ、近年では自然環境への悪影響が懸念されている。 本活動では宿泊イベントを開催し、サロベツ地域の子ども達と海岸の海浜植物を観察し、散策マップを作成し公共施設に掲示する。この活動で参加した子ども達や立ち寄りた人に稚咲内海岸の自然や環境問題について興味を持ってもらう。
十勝川のシシヤモを守る会	水質調査、河川の清掃活動	十勝川水系青負川 流域(豊原町)	水質検査キットにより川の流れの調査を行い水質の変化を確認する。 調査にあわせて流域の清掃活動も行う。
特定非営利活動法人 中頓別町まちづくり協議会	頓別川クリーンアップ事業	頓別川及び川辺 (中頓別町)	これまで行ってきた「頓別川清掃カメラ事業」をさらに多くの住民及びこのまちを応援してくれる他住民の参加を見込んで規模を広げていきたいと考えています。 近年、自然豊かな地域に暮らしていても、河川との付き合いは薄れてきています。川は築堤や橋の上から眺めるだけのものになっているようです。子どもたちも川で遊ぶ機会は減っています。そこで、カメラを使って川と親しむ活動を通じて、河川に点在するプラゴミや空き缶、ペットボトルなどの回収を行います。自分たちの暮らしから生まれるゴミが河川をおして海まで運ばれることを知ることは、必ず行動の変化を生み出すものと確信しています。宋永く取り組みたいことを目指して、行政の支援を受けながら今後も取り組んでいきたいと思っています。
北海道岩見沢農業高等学校 農業土木工学科農業クラブ	南空知の流域土壌炭素含有率を増加させて 河川生態系の回復を目指す活動	岩見沢市、 三笠市、美瑛市	岩見沢市周辺で、流域土壌の腐植を増加させて、水質を改善し、水生生物が生息しやすい環境にする活動を行っています。土壌に炭素を蓄積することによって土壌腐植酸を増加させ、土壌の保肥力を増加させることによって、肥料の河川への流入を防ぎます。流入する肥料が減ると河川水の溶存酸素が増加して、魚種や数が増加することも確かめました。今年度は私たちがファンリテーターとなって、現地調査などを行う市民講座を実施します。
北海道大野農業高等学校	大野川の水質環境調査	大野川周辺 (北斗市内)	7月に外部講師による講演会を1学年対象に実施し、農業と自然環境、水環境の関係を理解する。1学年対象に大野川の水質環境調査を実施し、近隣の高等学校に協力を依頼し、調査手法の指導ならびに結果についての共同研究を実施し連携を図る。なお、水質調査については、引き続きボランティア部が継続的に取り組み、データを蓄積する。結果については、高文連などの場で発表するとともに、地域社会でもポスター発表などを実施する。
北海道自然観察協議会	国際海岸クリーンアップキャンペーン に参加してプラスチックごみと石狩の 自然について一緒に考えよう	石狩市 三穂浜	石狩浜で自然観察会と清掃活動を行いマイクロプラスチックの調査を実施する

団体名	事業名	活動地域	事業概要
<small>やすはるがわ</small> <b>安春川たんけんクラブ</b>	安春川を親子で楽しみ・学び・守ろう！	安春川流域 (札幌市北区内)	安春川は、札幌市北区を静かに流れる人工河川です。小さいながらも四季を通じて魅力的な景観で、地域の憩いの場として親しまれ大切に守られてきた水環境のひとつです。その安春川を守る小さな活動として、親子で清掃活動に取り組み地域への愛着や社会奉仕の精神を育む機会とします。また、川遊びを通じて水辺に生きる生物を観察したり、外来種問題となっているアメリカザリガニの駆除を通じて、水環境保全を学ぶ機会とします。
<b>特定非営利活動法人</b> <b>Rethink the Nature</b>	川下りで考えるゴミと自然環境問題	空知川流域 (富良野市内)	川下りをしながらゴミ拾いをすることで、ごみの現状と課題を知り、体験を通じて水辺のゴミを減らすために自分たちでできることを考え行動し周囲にも伝えるにはどうしたら良いのか。みんなの環境問題として一緒に考えます。

※五十音順